

令和元年版 少子化社会対策白書

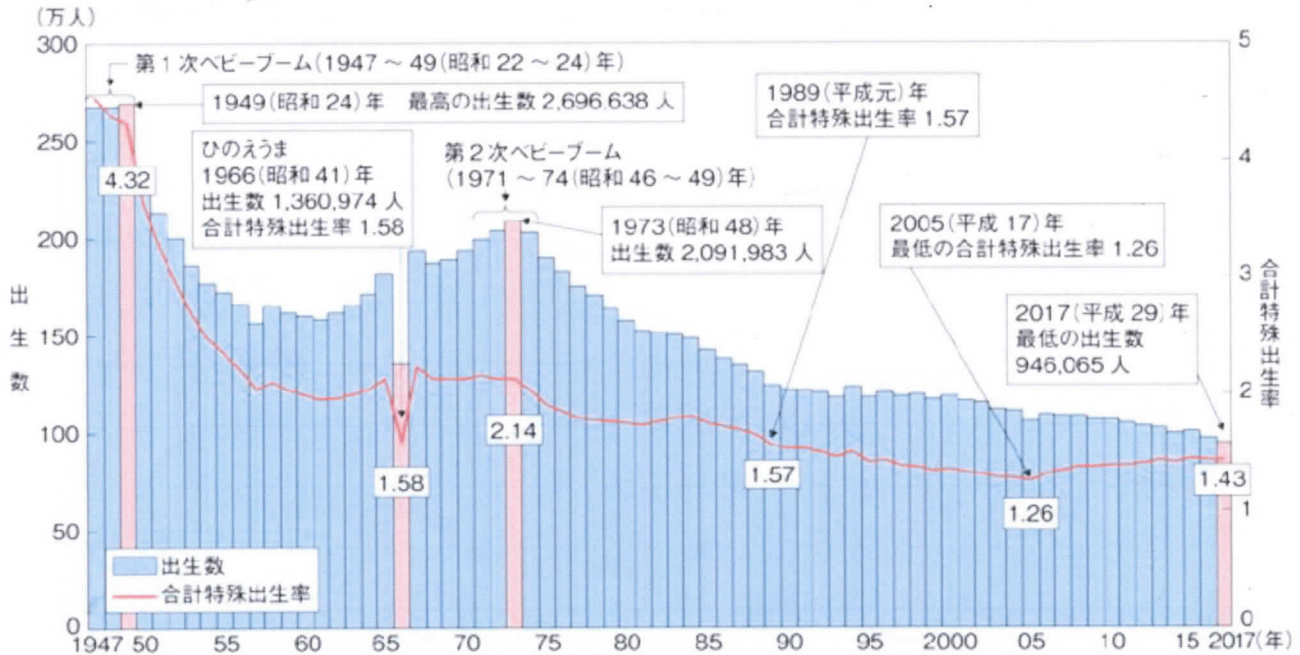
少子化社会対策基本法に基づき毎年国会に提出(法定白書)。今回で16回目。

〈少子化社会対策基本法〉（平成15年法律第133号）

第9条 政府は、毎年、国会に、少子化の状況及び少子化に対処するために講じた施策の概況に関する報告書を提出しなければならない。

第1部 少子化対策の現状

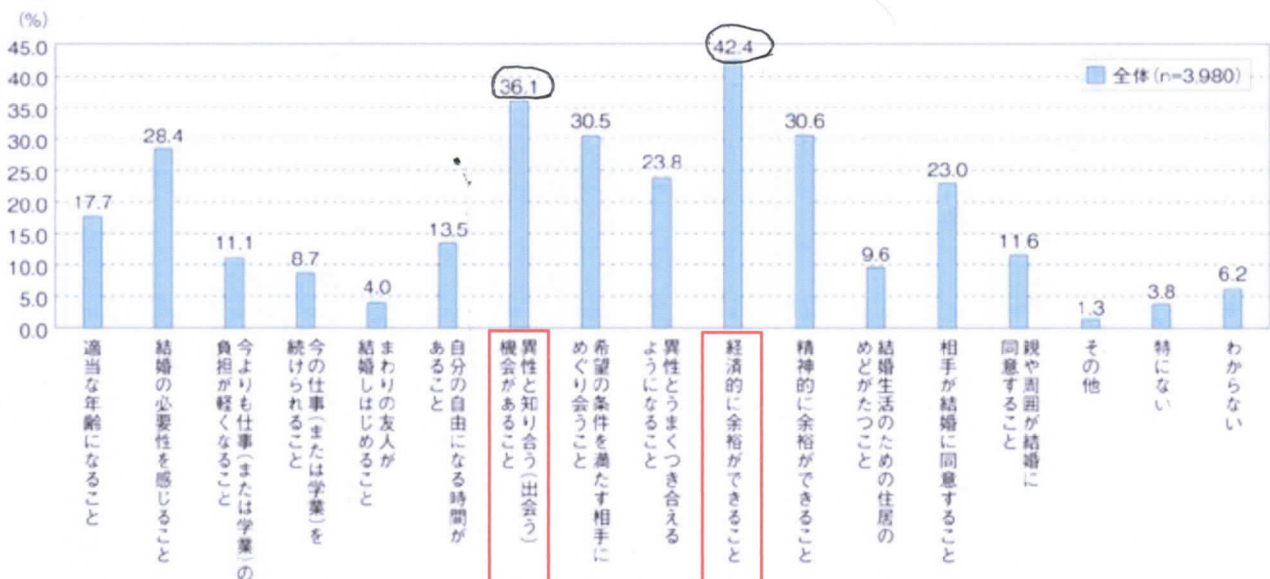
出生数、出生率の推移



結婚に関する意識 【結婚に必要な状況等について調査】

① どのような状況になれば結婚すると思うか

「経済的に余裕ができること」が42.4%と最も高く、続いて「異性と知り合う（出会う）機会があること」が36.1%。



② 結婚を希望している者で「適当な相手にめぐり合わない」と回答した者のその具体的な内容

「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が42.6%。

③ 「適当な相手にめぐり合わない」と回答した者に対し、具体的な相手を探すために起こした行動

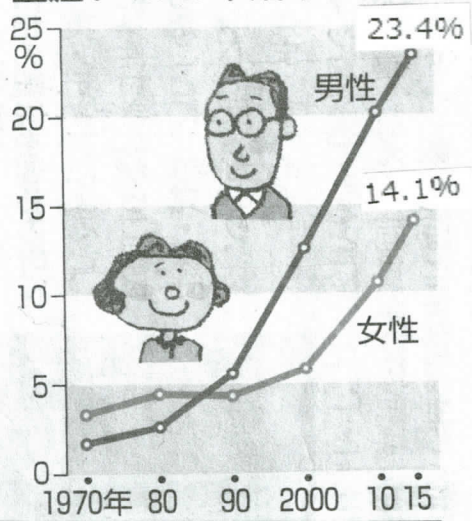
全体では、約6割が「特に何も行動を起こしていない」。特に男性はどの年代でも、女性と比べてその割合が高い。

④ 結婚相手との理想の出会いの場

「出会い方には特にこだわらない」と「職場や仕事で」が多く、特に20歳代女性で「職場や仕事で」が多い。

[東京新聞 (夕刊) 2019年5月23日]

生涯(50歳時)未婚率の推移



※国立社会保障・人口問題研究所調べ